

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
1	NO. 1	(1) まちのPRと特産品の 販路拡大及び地域 ブランド力強化の推 進	① 特産品の開発・販路 拡大・まちのPR事 業	観光交流センター売上額 (R2-R7累計) : 58,500千円	(R1) 1,697千円	1,500	7,000	9,000	11,000	15,000	15,000	58,500	地域振興課 企画政策課	×	【地域振興課】 観光協会を解散(R7.6)し、観光業務を移住・定住と観光業務を主とする社 団法人(R7.4設立)に委託し、移住・定住と合わせて行っていく。社団法人が 稼働するまでは、観光協会の運営費とし、稼働後は、移住・定住サポートセ ンター(社団法人)への業務委託とする。 【企画政策課】 吉本興業と連携したPR事業、はりまサタデー9での放送。吉本興業主催で 市川ハウスまつり、70周年事業(7月25日)の開催。またいちかわテラスと連 携し、市川ハウスを活用した、移住・空き家ツアーを行った。
						761	1,001	1,390	2,020	1,084	—	6,256			
						13,500	12,000	14,000	14,000	14,000	14,000	81,500			
						13,665	21,623	14,900	15,270	8,000	7,000	80,458			
2	NO. 1	(1) まちのPRと特産品の 販路拡大及び地域 ブランド力強化の推 進	② 情報発信拠点の整 備・活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	地域振興課	○	各イベントへの出店 事業所との連携によりPR事業の強化 工場見学の受入れによりPR事業の強化 愛アン8-10号によるゴルフ場、芸能人イベント等へ出展しPR 日本で唯一開催される全米女子プロゴルフ協会の公式戦(TOTO)に参加 することが出来た。
						—	—	—	—	—	—	—			
						28,400	10,000	3,725	18,524	16,554	16,554	93,757			
						4,730	110	2,439	17,513	17,357	18,127	60,276			
3	NO. 1	(1) まちのPRと特産品の 販路拡大及び地域 ブランド力強化の推 進	③ ゴルフを主軸とした イベントの開催	イベント来場者数 (R2-R7累計) 7325人	(R1) 1000人	1000人	1100人	1150人	1225人	1340人	1510人	7325人	地域振興課 企画政策課		【企画政策課】 サマースクールや町内の小学校でのゴルフ体験を実施。ゴルフイベントは、 移動式情報発信拠点により市川町のPRをおこなった。
						50人	0	0	0	0	0	50人			
						4,000	4,000	2,000	2,000	2,000	2,000	16,000			
						2,000	0	0	0	0	200	2,200			
4	NO. 1	(2) 起業、創業の拡大推 進	① 町、商工会、地元金 融機関の連携強化に よる創業支援事業	創業者数 : 7件×6年=42件 (町と商工会)	(H30) 4件	7件	7件	7件	7件	7件	7件	42件	地域振興課		創業希望者に対し、商工会と連携して個別に支援を行うが、商工会に対し、 創業支援の問合せが増加していることから創業セミナーの実施を検討。 播磨連携中枢拠点都市圏で実施する
						2件	0	5件	3件	4件	2件	16件			
						3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	18,000			
						2,000	0	0	0	0	0	2,000			
5	NO. 1	(3) 地元事業者の売上拡 大、活性化支援	① 経営発達支援事業	事業計画策定件数 : 15件×6年=90件	—	15件	15件	15件	15件	15件	15件	90件	地域振興課	○	経営発達支援計画に基づき、商工会へ補助金を支出して事業を実施。事 業計画の策定 7件 小規模事業者における新たな特産品の商品開発・販路拡大に対し、商工 会への業務委託により支援を行う。 開発支援 3社 (田隅養鶏場、津田豆腐店、キムトモプロスノーボードスクール) 新商品 5品 (ひねボン、豆乳プリン、おからグラノーラ、チョコレート、バスクチーズ ケーキ)
						15件	20件	23件	17件	15件	15件	105件			
						2,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	7,500			
						2,176	2,500	3,138	2,358	2,500	2,500	15,172			
6	NO. 1	(3) 地元事業者の売上拡 大、活性化支援	② ふるさと納税の推進	寄附金額(R2-R7累計) : 1,396,000千円	(H30) 250,230千 円	196,000千円	240,000千円	240,000千円	240,000千円	240,000千円	240,000千円	1,396,000千 円	企画政策課	○	SNSを活用した情報発信 返礼品の動画制作をして、町公式Instagram、Youtubeを活用したPR 新たな返礼品開発を継続して実施 (卵、ひね肉、但馬牛経産牛を利用した缶詰を現在、検討中) 70周年記念グッズの取扱い
						357,597千円	405,577千円	369,949千円	346,661千円	357,879千円	341,103千円	2,178,766千 円			
						98,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	698,000			
						168,522	199,223	184,945	172,522	184,455	169,239	1,078,906			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
7	NO. 1	(4) 農林業を担う人材・経営体の育成	① 新規就農者支援事業	新規就農者数：1人×6年＝6人	(H30) 3人	4人	4人	5人	6人	6人	6人	—	地域振興課	×	農業次世代人材投資資金 経営開始型 2人×1,200千円＝2,400千円 1人×750千円＝750千円 前川盛彦(750千円)小谷・千原 久林(1,200千円)上牛尾 西尾(1200千円)川辺南
						4人	6人	6人	6人	4人	3人	29人			
						6,000	6,000	7,500	9,000	9,000	9,000	46,500			
						4,954	7,683	8,353	8,008	5,283	3,150	37,431			
8	NO. 1	(4) 農林業を担う人材・経営体の育成	② 農業経営の強化、農業法人の育成	集落営農数、農業法人数（R2-R7累計）：8件	(H30) 0件	2件	2件	1件	1件	1件	1件	8件	地域振興課	○	甘地営農組合が法人化 あまじ営農株式会社へ200千円 200千円(営農対策推進協議会)
						1件	1件	0件	0件	0件	1件	3件			
						200	600	100	100	100	100	1,200			
						100	350	0	0	0	200	650			
9	NO. 1	(4) 農林業を担う人材・経営体の育成	③ 農業体験教室等の開催	参加者のべ数（R2-R7累計）：60人	(H30) 20人	10人	10人	10人	10人	10人	10人	60人	地域振興課	○	春夏有機農業体験 全10回 秋冬有機農業体験 全10回 No.13の地域おこし協力隊活動事業費の内数として200千円計上。 地域おこし協力隊活動事業費 春夏 10,000円/回×10回=100,000円 秋冬 10,000円/回×10回=100,000円
						13人	14人	25人	28人	32人	22人	133人			
						0	0	0	0	0	0	0			
						0	0	0	0	0	0	0			
10	NO. 1	(5) 農林業の経営基盤の強化	① 6次産業化の取り組みの推進	6次産業化製品の開発数:5件(R7まで)	(H30) 1件	0	1件	1件	1件	1件	1件	5件	地域振興課	×	町単独補助金による支援は実施せず、国の支援事業による支援で対応。 市川高校が、笠形地域づくり協議会よりまちこネギ、じゃがいもを、いちかわ精肉店から牛肉を仕入れ、「まちこネギコロッケ」を開発しイベント等で提供していることを間接的に支援
						0	0	0	0	0	0	0件			
						0	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500			
						0	0	0	0	0	0	0			
11	NO. 1	(5) 農林業の経営基盤の強化	② 耕作放棄地の活用	耕作放棄地解消 0.5ha/年	—	0.5ha	0.5ha	0.5ha	0.5ha	0.5ha	0.5ha	3ha	地域振興課	×	耕作放棄地の解消を支援。 坂戸563(1,940㎡)坂戸営農生産組合が取組
						0.35ha	0.25ha	0	0	0	0.19ha	0.79ha			
						550	550	550	550	550	550	3,300			
						345	174	0	0	0	97	616			
12	NO. 1	(5) 農林業の経営基盤の強化	③ 農業振興地域整備計画の見直し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	地域振興課	○	農業振興地域整備計画の総合見直しを行うための基礎調査を実施
						—	—	—	—	—	—	—			
						0	0	0	0	0	0	0			
						0	0	0	0	0	3,377	3,377			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
13	NO. 1	(5) 農林業の経営基盤の 強化	④ 「オーガニックタウン」を 目指し、有機農業や産 業の支援	定住者:1世帯／年	—	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯	6世帯	地域振興課	×	地域おこし協力隊は1名となり、独立運営に向けた支援を行った。
						0世帯	1世帯	1世帯	0世帯	1世帯	0世帯	3世帯			
						7,400	7,200	5,800	5,300	6,300	5,300	37,300			
						5,906	6,700	9,072	8,390	10,453	5,967	46,488			
14	NO. 2	(1) 土地・施設の利活用	① 空き公共施設・遊休地 の利活用の推進	住宅用地2ヶ所の完売(千原・東川辺8区画)	—	—	—	—	—	—	—	—	企画政策課	×	町営分譲宅地の販売促進 SNSを積極的に活用し、住宅メーカーなどにチラシ配布 その他、町遊休地についてもパンフレットを製作して積極的に販売促進を 実施 令和7年度、完売に向けてハウスメーカーなどにPRを行ったが、3号地の問 い合わせ・相談はあったが契約に至らず。
						4区画	2区画	—	—	—	—	—			
						200	200	200	200	200	200	1,200			
						327	267	200	770	200	100	1,864			
15	NO. 2	(2) 都市圏からの移住促進	① 空き家、古民家利用施 策の推進	空き家等に入居した移住者数(R2-R7累計) 36人	(H30) 20人	6人	6人	6人	6人	6人	6人	36人	住民環境課 企画政策課	○	【住民環境課】 HP掲載分の空き家契約は10件 イギリスより1件2名、岡山県より1件3名、尼崎市より1件1名、加古川市より 1件1名、姫路市より1件1名、町内より3件3名、不明2件 ・空き家活用支援事業は計10件 令和7年度は、空き家活用支援事業についての問い合わせが多かったが、 特に県随伴補助の申請が多かった。 【企画政策課】 ・市川ハウスを活用した、吉本興業と協力して、継続してまちの魅力を発 信。市川ハウスのクラファンイベントでは都市部の方が多く訪れている。大 阪での移住相談会などでも市川くんを活用することで、二拠点居住に興味 ある人をターゲットにする。
						8人	3人	15人	9人	10人	10人	55人			
						4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	24,000			
						2,000	0	4,251	2,010	2,500	16,681	27,442			
16	NO. 2	(2) 都市圏からの移住促進	② 引っ越し支援事業⇒空 き家片付け支援事業	5件／年	—	—	5件	5件	5件	5件	5件	25件	住民環境課	×	空き家に残されている家財道具等の処分に要する経費に対して補助金を 交付した。 ＜補助金額＞ 補助対象経費の2分の1(上限100,000円) 100,000円×1件 49,000円×1件
						—	—	7件	4件	5件	2件	18件			
						0	500	500	500	500	500	2,500			
						0	0	333	375	419	149	1,276			
17	NO. 2	(2) 都市圏からの移住促進	④ ホームページの充実	町HPアクセス数(R7)1,330,000(メニュー別カウン ター履歴より)	(R1) 1,390,404 アクセス	1,320,000 アクセス	1,322,000 アクセス	1,324,000 アクセス	1,326,000 アクセス	1,328,000 アクセス	1,330,000 アクセス	—	企画政策課	○	SNSを積極的に活用して、関係人口、交流人口の創出を図った。 地域おこし協力隊、移住コーディネーター、定住支援員による「ツアー企画」 「移住相談会」など新たな活動を補助して、移住定住促進を図った。
						1,654,040	1,711,084	1,714,781	1,889,059	1,919,880	2,093,028	—			
						0	0	0	0	0	0	0			
						0	0	495	825	1,000	1,128	3,448			
18	NO. 2	(3) 若い世代に対する定住 促進施策の推進	① 若者向けの住宅取得 等の支援	制度利用者数(R2-R7累計) 20件×6年＝120件	(R1) 17件	20件	20件	20件	20件	20件	20件	120件	住民環境課	×	若者定住促進住宅取得奨励金 住宅を取得した者が45歳未満 ＜補助金額＞ 新築:500,000円 中古:300,000円 町外から転入は、こども一人50,000円加算 新規移住者・Uターン者件数 7件23名 町内 9件28名 令和7年度は、問い合わせも多く、事業が開始され 9年目となり、さらに認 知度も広がっていると感じている。
						11件	11件	17件	11件	13件	16件	79件			
						6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	36,000			
						5,450	5,150	8,800	5,500	6,400	7,440	38,740			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
19	NO. 2	(3) 若い世代に対する定住 促進施策の推進	③ 若者遠距離通勤者助 成事業	R7対象者数 40人	—	—	40人	40人	40人	40人	40人	—	企画政策課	×	前年と同様、周知を図り、積極的な制度活用に取り組んだ。 40歳未満、通勤距離30キロ以上。 ＜補助金額＞ 基本:3,000円／月 JR利用者:2,000円／月(加算) 基本分 @3000×12ヶ月×21人 @3000×10ヶ月×2人 @3,000×9ヶ月×1人 @3,000×8ヶ月×1人 @3,000×6ヶ月×4人 @3,000×5ヶ月×2人 加算分 @2,000×12ヶ月×4人 @2,000×10ヶ月×2人 @2,000×5ヶ月×2人
						—	10人	12人	33人	33人	31人	—			
						0	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	7,200			
						0	334	472	1,150	1,181	1,097	4,234			
20	NO. 2	(4) ふるさと意識、郷土愛 の醸成	① 小学校での地域学習の 推進	サマースクール参加者(R7) 25名	—	10	10	15	15	20	25	95	生涯学習課 地域振興課	×	①ゴルフ工場見学や地域学習を含む市川大好き子事業を町内4小学校に各15万円で委託。(133名) ②サマースクールのゴルフ講師謝金(5万円)、ゴルフ場使用料(2万円)(22名) ゴルフクラブ製造業者の協力により、サマースクールと小学校でのゴルフ体験を実施することができ、町内の子どもたちへの認知度向上が図れた。
						0	19	19	19	22	22	101			
						680	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	7,280			
						600	600	900	800	870	870	4,640			
21	NO. 2	(4) ふるさと意識、郷土愛 の醸成	② 町花「ひまわり」など、 のどかな風景を活かし た四季の彩り創出	(R2-R7累計) 6事業	(R1) 2事業	1事業	1事業	1事業	1事業	1事業	1事業	6事業	企画政策課 地域振興課	○	【地域振興課】 「ひまわり背高のっぽコンテスト」「ひまわりの種搾油体験」「いちかわ夢ふうせんプロジェクト」を実施。コンテストは小学校からの参加もあり、ひまわりが町内に多くなってきた。搾油体験では小学校の環境学習や六次産業化といった授業と絡めて活用方法を学んだ。「いちかわ夢風船プロジェクト」では、甘地、鶴居小学校の2校で実施。 三重県松坂市横地町(甘地小学校から175km)から連絡あり。 【企画政策課】 ◎ひまわり畑(4団体)最大面積:奥ひまわり畑(115.4a) R7年度は暑すぎて予想より早く育成し、見ることができた時期は短かったが、たくさんの方に見ていただいた。SNSやHPでの情報発信の他、雑誌等にも掲載され、問い合わせ増加。積極的にSNSやHPを用いて情報発信をしていく。
						3事業	5事業	5事業	4事業	4事業	4事業	25事業			
						300	300	300	300	300	300	1,800			
						381	2,131	1,860	700	710	800	6,582			
22	NO. 2	(4) ふるさと意識、郷土愛 の醸成	③ 地域の伝統行事、郷土 芸能など、町民の心と 地域を結ぶ「地域文化」 への支援、PR	ふしぎ発見講座受講者数(R7) 100人	(H30) 45人	50人	60人	70人	80人	90人	100人	450人	生涯学習課	×	地域の伝統行事、郷土芸能など、町民の心と地域を結ぶ「地域文化」への支援として、伝統文化継承推進助成事業・いちかわ不思議発見講座の実施。 伝統文化継承事業(上限30万)としては、各保存会等からの要望により、屋台等の修理などにかかる助成を行った。 いちかわふしぎ発見講座を1回開催し(参加者46名)、市川町の歴史に触れる講座ができた。
						0	43人	55人	62人	61人	46人	267人			
						5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	30,600			
						4,279	3,796	4,697	5,057	5,284	6,106	29,219			
23	NO. 3	(1) 安心して子どもを生み 育てる施策の推進	① 母子保健相談事業の 強化	①3・4か月児健診受診率 100% ②1歳6か月児健診受診率 95% ③3歳児健診受診率 100% ④未受診児フォロー率 100%	(H30) ①100% ②95.0% ③101.6% ④—	①100% ②95% ③100% ④100%	①100% ②95% ③100% ④100%	①100% ②95% ③100% ④100%	①100% ②95% ③100% ④100%	①100% ②95% ③100% ④100%	①100% ②95% ③100% ④100%	—	保健福祉センター	×	健診、育児相談において、多職種による個々に応じた発達フォローや育児への相談に対応した。個別支援が必要なケースも増加傾向にあるため、フォロー・未受診者対応を丁寧に切れ目なく行った。2か月児の訪問を実施することで、3・4か月児健診までにほぼ全員に関わることができ、今年度も未受診者に対しては全員に個別で対応できており、支援を行き届かせることができた。
						①95.8% ②97.2% ③97.1% ④57.1%	①100% ②100% ③100% ④100%	①94.6% ②95.6% ③95.8% ④100%	①100% ②100% ③100% ④100%	①95.5% ②96.4% ③91.9% ④100%	①96.4% ②93.5% ③95.2% ④100%	—			
						1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	1,243	7,458			
								1,720	1,924	2,123	2,156	7,923			
24	NO. 3	(1) 安心して子どもを生み 育てる施策の推進	② 子育て世代包括支援事 業の充実	ママカフェ参加率 ①妊婦 2.0% ②産婦 35.0%	—	①1.0% ②30.0%	①1.2% ②31.0%	①1.4% ②32.0%	①1.6% ②33.0%	①1.8% ②34.0%	①2.0% ②35.0%	—	保健福祉センター	×	産後ケア事業において県の集合契約に参加予定。必要としている方にサービスを提供することができた。妊娠初期・中期・後期面談を実施、セルフプラン作成やアセスメントシートを利用し、対象者や家族に適したサービスを提供できるように、切れ目なく支援を行った。 ママカフェへの積極的な声掛けや、2か月訪問時にお誘いすることで、多くの方に参加していただくことができた。産後ケア事業は集合契約に参加したことで、利用者にあった施設で実施することができ、産後の不安を解消し健全な育児につなげることができた。
						①2.4%②14.7%	①3.1% ②16.2%	①2.8% ②28.8%	①3.8% ②19.0%	①4.1% ②22.9%	①4.1% ②33.2%	—			
						97	97	97	97	97	97	582			
								150	129	186	386	851			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
25	NO. 3	(2) 安心して子育て・教育 ができる環境整備	① 子育て支援施設の利用 促進	・こども園等に子どもを預ける施設利用者割合(R7) 80% ・地域子育て支援センター利用者数(R7) 6,350人	(H30) 76% 3951人	76% 6,100人	77% 6,150人	78% 6,200人	79% 6,250人	80% 6,300人	80% 6,350人	—	こども教育課	×	町内3園の認定こども園で教育・保育を一体的に提供している。出生数の減に伴い、施設利用者数は年々減少傾向にある。R8.3時点の町外利用者も含む施設利用者数／利用定員数) ・いちかわ東こども園 63.5%(108人/170人) ・いちかわ西こども園 71.1%(64人/90人) ・屋形こども園 95.0%(76人/80人) 実績値上段の数値は、町内在住の0-5歳児において、特定教育・保育施設利用者数を0-5歳児全体数で除した数。3月施設利用者数208人(町民)、0-5歳児242人。下段の数値は、地域子育て支援センターの年間利用者数。
						77% 3265人	74% 4638人	80.6% 6857人	93.7% 5,627人	84.7% 5,084人	86.0% 4,600人	—			
						0	0	0	0	0	0	0			
						0	0	0	0	0	0	0			
26	NO. 3	(2) 安心して子育て・教育 ができる環境整備	② 教育環境の整備・充実	①教育環境の整備箇所(R2) 4小学校 ②教育環境の充実 5小中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	こども教育課	○	GIGAスクール構想による市川町立小中学校向け学習ソフトウェアを購入。小中学校教育ネットワークシステム及び及び教育用コンピュータの追加整備。 第2期タブレット端末の整備 総整備台数 763台(予備機30台含む) 小学校児童分 398台 中学校生徒分 246台 児童生徒計644台 教師分(小・中) 89台
						—	—	—	—	—	—	—			
						5,000	3,600	0	85,285	0	0	93,885			
						98,344	7,641	6,249	2,805	20,853	11,160	147,052			
27	NO. 3	(2) 安心して子育て・教育 ができる環境整備	③ 特色ある教育の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	こども教育課 生涯学習課	○	サマースクールでは、英語教室(英語とダンスと一緒に学ぼう！レッツダンス！)を実施。14名参加 プログラミング教室は未実施
						—	—	—	—	—	—	—			
						0	300	300	300	300	300	1,500			
						3,433	2,005	30	454	60	32	6,014			
28	NO. 3	(3) 仕事と家庭生活との両立支援	① 学童保育内容の充実	・学童利用児童の割合(R7) 24%	(H30) 19%	20%	20%	21%	22%	23%	24%	—	こども教育課	○	児童数に合わせた職員数の確保に努め、備品等の更新など、子供を預けやすい環境を整備した。
						21%	27%	27%	27%	31%	30%	—			
						15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	93,000			
						17,595	18,394	21,525	23,024	33,065	33,843	147,446			
29	NO. 3	(3) 仕事と家庭生活との両立支援	② 病児・病後児保育事業の実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	こども教育課	○	ケアステーションかんざき2階において、病氣中や病氣の回復期にある児童を家庭で保育することができない場合に一時的に預かっている。一日あたりの定員は2名。 市川町の利用者は少なかった。利用のための申し込みがないわけではないので、以前と比べて、職場で休みが取りやすい環境になってきていることが利用者数が少ない原因の一つとして考えられる。
						—	—	—	—	—	—	—			
						6,323	600	600	600	600	600	9,323			
						5,468	501	764	886	1,970	1,794	11,383			
30	NO. 3	(3) 仕事と家庭生活との両立支援	③ 男女共同参画の推進		—	—	—	—	—	—	—	—	企画政策課	○	男女共同参画プランの改定。町HPIに県が実施している相談窓口などの案内を掲載。
						—	—	—	—	—	—	—			
						2,200	5	5	5	5	2,200	4,420			
						2,146	0	0	0	0	3,113	5,259			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
31	NO. 3	(3) 仕事と家庭生活との両 立支援	⑤ 孫育て応援事業	配布部数(R5-R7累計) 90部	—	—	—	—	—	—	—	—	保健福祉センター	○	引き続き母子手帳交付時に、家族手帳を配布し、内容の説明を行った。祖 父母世代の子育てに関する知識の更新や、家族による子育て支援体制の 充実を図るため、周知を行った。 妊娠期から家族全体で子育てについて理解を深める、話し合う機会を提供 することができた。引き続き家族全体で子育てを支える環境づくりの推進に 努める。
						—	—	—	—	—	—	—			
						0	0	453	54	54	54	615			
						0	0	344	40	56	0	440			
32	NO. 3	(4) 経済的負担の軽減策 の推進	① 妊産婦等健康診査・特 定不妊治療費・予防接 種等の助成	—	—	—	—	—	—	—	—	—	保健福祉センター	○	事業を継続して実施した。 妊婦健康診査費助成事業、新生児聴覚検査費助成事業、産婦健診費助 成事業については、例年と同等の実績で経過。経済的負担の軽減と、受診 機械の確保に寄与している。また医療機関との連携も密にできており、切 れ目のない支援の一翼を担っている。 おたふくかぜ予防接種助成事業についても平年並みで推移。接種機会の 確保と感染症予防に寄与している。 不育症および低所得妊婦に対する事業は実績なし。対象者が生じた際に は、速やかに支援を行えるよう、引き続き制度の周知に努める。
						—	—	—	—	—	—	—			
						6,190	6,190	6,190	6,190	6,190	6,190	37,140			
								3,839	2,045	2,890	2,643	11,417			
33	NO. 3	(4) 経済的負担の軽減策 の推進	②多子世帯支援事業	こども園等の第2子・第3子利用者割合(R7) 68%	(H30) 65%	65%	65%	66%	66%	67%	68%	—	こども教育課	×	幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児は保育料が無償化されてい る。0～2歳児については、きょうだいの年齢制限を撤廃し、町独自軽減を 引き続き実施する。3歳以上児の給食費についても、同様に町独自軽減を 実施する。 保育料のかかる0～2歳児の利用者については、第2子・第3子以降の割合 が64.6%と高くなっているが、対象年齢の99%の方が利用する3～5歳児に ついては、そもそも第1子の割合が42%となっており、その年齢層の人数が 多いため第2子・第3子以降の割合を引き下げている。
						62%	63%	65%	64%	64.3%	60%	—			
						23,142	23,142	23,142	23,142	23,142	23,142	138,852			
						20,250	17,865	15,608	13,675	10,053	12,521	89,972			
34	NO. 3	(4) 経済的負担の軽減策 の推進	③ 医療費助成事業の拡 充	—	—	—	—	—	—	—	—	—	健康福祉課	○	令和5年7月1日からこども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大し、高校 生等を対象とし医療費無償化を新たに実施する。 令和8年2月末現在の受給者:こども医療475人、乳幼児医療446人(うち所 得制限撤廃こども医療91人、乳幼児医療51人)、高校生等286人
						—	—	—	—	—	—	—			
						24,962	24,962	24,962	24,962	24,962	24,962	149,772			
						16,019	19,617	19,974	27,486	30,233	29,941	143,270			
35	NO. 3	(4) 経済的負担の軽減策 の推進	④ 学校給食費の助成	—	(R1)月額 300円軽減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	—	こども教育課	○	材料費の5.6%(月額300円)を町負担として補助する。 R7より、中学生の給食費の無償化を実施する。 ・小学生給食費(月額4,300円)から月額300円を軽減した額。 (減額前17,816千円-減額後16,576=1,240千円) ・町内在住の中学生給食費(月額4,800円)の全額。11,833千円。 一人につき年間、小学生は3,300円、中学生は52,800円の軽減となり、子育 て世帯の負担軽減となっている。
						月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	月額300円軽 減	(小学)月額 300円軽減 (中学)無償化	—			
						2,577	2,577	2,577	2,577	2,577	2,577	15,462			
						2,261	2,407	2,361	2,199	2,142	13,073	24,443			
36	NO. 3	(4) 経済的負担の軽減策 の推進	⑤ 体操服購入費の助成	—	—	—	—	—	—	—	—	—	こども教育課	○	経済的不安軽減による就学、入学時の1万円支給を本年度も継続して実 施。 小学校42名 × 10,000円 中学校75名 × 10,000円
						—	—	—	—	—	—	—			
						1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	1,760	10,560			
						1,770	1,770	1,550	1,250	1,510	1,170	9,020			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
37	NO. 4	(1) 地域交流活動の促進	① 地域活性化取り組み団体へのサポート	制度活用団体数(R7) 9団体	(R1) 7団体	7	7	7	8	8	9	46	企画政策課	○	まちづくり活動に取り組む団体に対する助成を行う。 ＜補助金額＞ 対象経費の10分の10(上限200,000円) ○11団体 2,200,000円 新たな団体(市川食と暮らしを守る会)などもあり、地域での賑わい創出、活性化が図られている。継続して実施することが大切ということと、マンネリ化にならないようにという事で、次年度からは新しい取組などを事業計画に加えた新しい補助事業を実施する。
						6	7	8	8	10	11	50			
						1,200	1,200	1,200	1,400	1,400	1,600	8,000			
						1,100	1,400	1,474	1,600	2,000	2,200	9,774			
38	NO. 4	(2) 公共交通機関の整備	① 公共交通の充実	コミュニティバス等利用者数(R7) 年間のべ5,500人	(H30) 5,105人	5,300人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	5,500人	—	企画政策課	○	◎コミュニティバス、買い物バス、連携バスの運行事業を継続 ◎コミュニティバスの再編(R7.4.1改正) 【瀬加路線】通勤通学向けの時刻表へ変更 【浅野路線】通勤通学向けの時刻表へ変更 ◎連携コミュニティバスの再編(R7.4.1改正) 市川町コミュニティバスに即した運行に再編
						5,215人	6,047人	6,682人	6,173人	7,210人	11,193人	—			
						17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	102,000			
						14,948	13,797	14,831	15,875	23,317	42,163	124,931			
39	NO. 4	(2) 公共交通機関の整備	② 駅施設の環境改善	—	—	—	—	—	—	—	—	—	企画政策課	×	甘地駅前花壇の撤去について(駐車場の拡大)JR近畿支社と協議。R8に事業実施に向けて協議
						—	—	—	—	—	—	—			
						38,800	3,000	35,000	15,000	15,000	15,000	121,800			
						53,213	1,650	31,900	0	0	0	86,763			
40	NO. 4	(3) 高齢者が元気に暮らせる社会の実現	① 住宅リフォーム(バリアフリーに係るもの)への支援	住宅リフォーム利用件数(R2-R4累計) 24件	(R1) 1件	4件	4件	4件	—	—	—	12件	健康福祉課		R4年度で事業終了
						3件	1件	1件	—	—	—	5件			
						1,600	1,600	1,600	0	0	0	4,800			
						1,200	126	1,600	0	0	0	2,926			
41	NO. 4	(3) 高齢者が元気に暮らせる社会の実現	② 高齢者の交通安全対策	制度利用者数(R3-R4累計) 40件	—	—	10件	10件	—	—	—	40件	住民環境課		R4年度で事業終了
						—	3件	1件	—	—	—	4件			
						0	200	200	0	0	0	400			
						0	60	20	0	0	0	80			
42	NO. 4	(3) 高齢者が元気に暮らせる社会の実現	③ 高齢者見守りサービスの向上	パペロ利用者数(R7) 17人	—	9人	13人	17人	17人	17人	17人	—	健康福祉課 包括支援センター		R6年度で事業終了 令和7年度から高齢者補聴器購入費助成事業を実施予定 (65歳以上の高齢者対象、上限3万円を助成)
						4人	3人	3人	3人	3人	—	—			
						1,909	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	11,909			
						1,348	1,771	1,469	1,284	1,177	0	7,049			

第2期市川町総合戦略進捗管理【R2-R7】

1段:目標値、2段:実績値、3段:予定額、4段:決算額 (単位:千円)

番号	基本 目標	具体的な施策	主な取り組み	KPI(重要業績評価指標)	基準値	R2計画値	R3計画値	R4計画値	R5計画値	R6計画値	R7計画値	—	担当課	令和7年度 事業実績 ○21 ×21 中止6	R7実施概要
						R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	—			
						R2予定額	R3予定額	R4予定額	R5予定額	R6予定額	R7予定額	合計			
						R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	R7決算額	合計			
43	NO. 4	(4) 健やかな暮らしの実現	① 健康増進施策の推進	健康ポイント利用者数(R2～R7累計) 2250人	0	250人	300人	350人	400人	450人	500人	—	保健福祉センター	×	健診受診率向上、健康づくりのきっかけや励み、医療費の適正化にもつなげていけるよう健康づくり、体力づくりポイントカードを配布。 ポイント精算期間を厳密に設けたため、前年度と比べポイント利用の申請者が減少した。次年度はポイント精算期間の周知をより徹底し、多くの方に申請していただき健康増進につなげる。
						269人	489人	508人	529人	569人	340人	—			
						80	100	120	140	160	180	780			
						96	129	178	160	42	66	671			
44	NO. 4	(4) 健やかな暮らしの実現	② スポーツ活動の推進	①ゴルフイベント参加者(R7) 100人 ②スポーツ教室参加者(R7) 400人	—	①50人 ②200人	①60人 ②240人	①70人 ②280人	①80人 ②320人	①90人 ②360人	①100人 ②400人	—	生涯学習課	×	①水泳教室を実施し、延べ167人の参加があった。SUP体験会には20名、水泳大会には38名が参加した。また、ヨガ教室を実施し、延べ321人の参加があった。 ②令和7年度は、スポーツ振興くじ助成事業を活用していないが、町費で硬式テニスネット、卓球台、バスケットゴールの更新を行った。 ③体育施設等の社会教育施設について、登録団体は減免を実施した。 ・社会教育施設について、登録団体5割減額することで、利用者負担の軽減を図り、さらなる利用度のアップにつなげる。 ・硬式テニスネット、卓球台、バスケットゴールの更新により、新たな利用者の増加が期待できる。また、様々な用途で老若男女問わず利用者の増加が期待できる。
						①0 ②0	①0 ②0	①0 ②182人	①0人 ②216人	①0人 ②259人	①0人 ②546人	—			
						3,400	400	450	450	500	500	5,700			
						3,000	1,589	1,568	3,074	4,865	2709	16,805			
45	NO. 4	(4) 健やかな暮らしの実現	③ ゴルフによる認知症予防 防施策	参加者数(R4-R7累計) 40人	—	—	—	10人	10人	10人	10人	40人	地域振興課 健康福祉課		実施なし
						—	—	—	—	—	—	—			
						0	0	550	550	550	550	2,200			
						0	0	0	0	0	0	0			
46	NO. 4	(5) 生活環境の改善	① 生活道路と河川の環境 整備	地元要望等達成率 80%確保	(H30) 75%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	—	建設課	×	地元要望とバトロールに基づく道路改修(舗装・修繕)、道路改良(拡幅)、道・河川の草刈り・剪定 計画値を6%下回ったが、要望箇所については緊急性の高い箇所や、交通量の多い道路を優先的に工事を行っている。限られた予算の中で計画的に実施できた。
						80%	85%	85%	84%	87%	74%	—			
						80,700	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	430,700			
						94,266	102,800	132,859	136,971	153,160	139,574	759,630			
47	NO. 4	(5) 生活環境の改善	② 生活排水処理事業の 推進	汚水処理人口普及率(R7) 95%	(H30) 83%	88%	91%	92%	93%	94%	95%	—	下水道課	×	(中部処理区) 舗装本復旧工事(甘地、近平地区) (南部処理区) 処理場増設工事 面整備工事(西川辺、東川辺地区) 国庫補助の内示額が低迷しており、工事等に遅れが生じている。
						86.5%	88.0%	89.2%	92.1%	93.5%	93.7%	—			
						242,255	248,883	268,720	272,771	274,921	275,921	1,583,471			
						192,973	209,614	221,404	230,622	258,935	269,076	1,382,624			
48	NO. 4	(5) 生活環境の改善	③ 危険空き家除却支援事 業	2件／年	—	—	2件	2件	2件	2件	2件	10件	住民環境課	×	老朽危険空き家の解体撤去工事費用の一部を補助する。 老朽危険空き家の除却工事費の2分の1 (上限 333,000円) 1件申請有り、老朽危険空き家の解体を進めることで、環境衛生の向上に資した。 近隣から苦情があり、老朽危険空き家の対象となりそうな物件の所有者に、補助金の案内を送付しているが、実際の解体に大きな費用がかかるため、申請に至らない状況である。 今後とも老朽危険空き家の対象となりそうな物件の所有者に対して積極的に補助金の活用を促していく。
						—	0件	0件	2件	1件	1件	4件			
						0	800	800	800	800	800	4,000			
						0	0	0	666	333	333	1,332			